

**令和2年度民間空き家対策東京モデル支援事業
(空き家の発生抑制対策)
成果報告について**

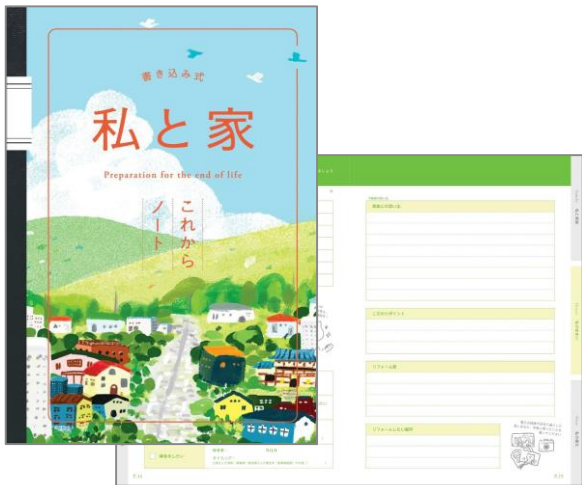
**「空き家の発生抑制・有効活用・適正管理
における啓発事業」**

株式会社ジェクトワン 布川 朋美
2021年9月17日

1 高齢者向け（60代以上）

家族と話合うきっかけづくり、情報収集・整理サポート、具体的な提案ができる窓口の提供

「私と家 これからノート」制作



終活事業者との共同監修による、
不動産情報を整理し住まいの将来設計を立てるためのオリジナルノート

高齢者向けセミナー開催

The top poster is for a seminar titled 'ゼロから始める！ 民事信託・生前対策セミナー' (Starting from zero! Civil Trust and Pre-death Strategy Seminar). It features two speakers: 印南 俊祐氏 (Shunpou Shunpou) and 清水 貴仁氏 (Shimizu Kinami). The date is 2021.02.13 [sat] from 14:00-16:00. The bottom poster is for a '無料オンラインセミナー 業界のプロに聞く！ 生前整理・終活準備セミナー' (Free Online Seminar: Hear from industry pros! Pre-death整理 and End-of-life preparation seminar). It is held on 3月14日 (Sun) 14:00-16:30. It features three speakers: 大田 孝之氏 (Ota Takayuki), 後藤 克氏 (Goto Katsu), and 印南 俊祐氏 (Shunpou Shunpou).

全6回 計71名参加
テーマ：相続、高齢者施設、生前整理、民事信託等

無料相談窓口開設
現地訪問提案サービス



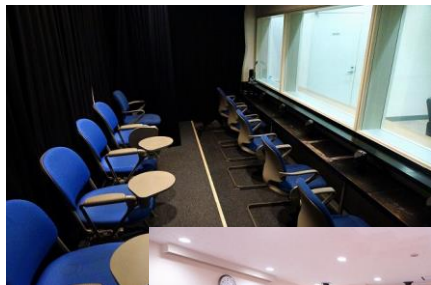
A flyer for '現地訪問提案サービス' (Local site visit proposal service). It is labeled '全て無料' (All free). It features three numbered steps: 01 (電話、メールにて無料相談), 02 (現地に伺い、対象の物件と用途 候補の調査をおこないます), and 03 (調査に基づき、最適な解決方法を無料でご提案いたします). It also lists services like 売却、管理、リフォーム, 貸付け, 転居の支援など.

空き家のワンストップ窓口
相談件数：10件

2 空き家予備軍向け（30～50代）

実家の将来設計について準備喚起、空き家予備軍向けに意識調査と新たなツールの提供

デプスインタビュー※



潜在層との**タッチポイント**を探る
調査対象：30～50代男女9名
※対象者と一対一で対話するインタビュー手法

空き家ジャーニーマップ制作



空き家対策を可視化した**オリジナルジャーニーマップ**。事前に必要な備えを**チェック**できる。

空き家啓蒙動画制作 YouTube広告配信



空き家の啓蒙と活用有用性を伝える動画の配信
再生回数：約70,000回

3 一般層への周知（20～80代）

体験型イベントで身近に潜む空き家の認識付け、空き家の基礎知識をまとめた冊子の提供

「空き家手帳」制作



空き家の基礎知識、活用事例、専門家インタビューをまとめた**空き家専門保存版パンフレット**

空き家びらき 1



染色体験イベント@b.e.park
「再生」を空き家と染め物を共通コンセプトとして実施。

空き家びらき 2

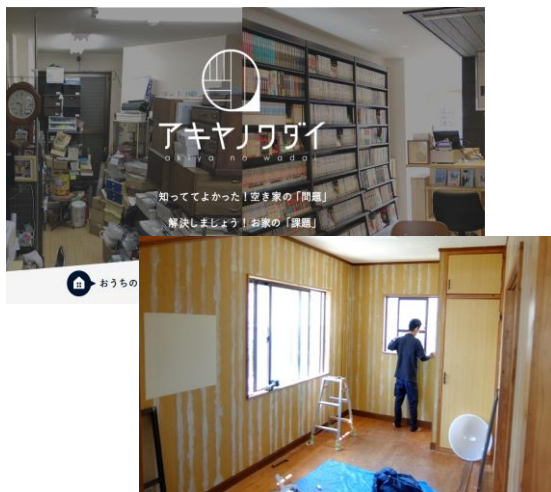


オープンイベント@cake to go
戸板女子短期大学との産学連携コラボにより周辺地域へアプローチ

4 一般層への周知（20～80代）

空き家の適切な維持・管理等知識の普及啓発、自分ごととして考えるコンテンツの提供

空き家啓発記事の配信



自社オウンドメディアにて、**空き家の啓発と活用推進**のコラム記事を5記事配信

空き家×DIYの特別企画記事



バッドボーイズ佐多氏による**DIYの魅力と空き家**について特別インタビュー記事。

■ 事業終了後の課題

- ・本事業にて制作したオリジナルツールを活用しセミナーやイベントを積極的に開催する。なお新型コロナウイルス感染拡大によりイベント開催は苦戦したため、オンライン向きの企画を考案していく。
- ・相談窓口は今後も継続して開設し、東京都内の空き家解決の受け皿として行政と連携の上一層の周知を広めるよう、窓口の拡充や相談窓口専用ランディングページ作成などの取り組みをおこなう。

■ 空き家への意識啓発における重要性

- ・空き家の啓発としては、身近な場所や生活周りの事象などに係る複数のタッチポイントを作り、所有者、空き家予備軍ともに当事者として考えるきっかけを定期的かつ継続的に与えることが必要。
- ・空き家予備軍における意識は低いが、早い段階から「空き家について全般的に相談できる場所がある」ことをインプットすることで、空き家取得時の初動が早くなり、効果的である。
- ・当社としては、民間企業ならではの知見と空き家事業の実績モデルを集め、意識の啓発や相談とともに空き家予備軍や所有者への現実的な包括サポートを引き続きおこなっていく。